

児童労働分科会について の提案

サステイナブル・カカオ・プラットフォーム
会員会合

2021年12月15日

白木朋子

認定NPO法人ACE

副代表/共同創業者

(副業務主任者/

児童労働政策分析/CLFZ分析)

(参考) 欧州プラットフォームにおける、 児童労働に対するコミットメントや活動内容

ドイツ	スイス	ベルギー	オランダ
<ul style="list-style-type: none"> • 会員組織のプロジェクトによって介入したすべての家庭で、2025年までに、児童労働の予防・モニタリング・是正策が実行される。 • 企業による児童労働への取り組みに関するガイドライン作成 • 児童労働に関する指標やモニタリングシステムを開発 • 児童労働に関するリスク評価方法を開発（中小企業も） • 分科会はドイツ政府から資金支援あり 	<ul style="list-style-type: none"> • カカオ生産国で活動し、児童労働に関わる全ての会員は児童労働撤廃と若者の視点の向上に努める。 • 子どもの権利や児童労働のリスクに関する啓発、児童労働監視是正システム（CLMRS）の導入 • 質の高い教育、ヘルスケア、清潔な水や衛生設備などの基本的な行政サービスへのアクセス向上 • 小規模農家の経済的ショックに対するレジリエンス強化 • 上記活動を拡大するための政策や戦略の策定、支援可能な環境の促進 	<ul style="list-style-type: none"> • カカオのバリューチェーン上における強制労働と児童労働の撤廃。 • そのための研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 児童労働監視是正システム（CLMRS）を通して、2025年までに児童労働を撤廃することを目標 • ロードマップを作成し、各ステークホルダーの役割を明記。 • 児童労働撤廃に向けたコミュニティのエンパワメントと現地の行政能力の強化に資する、会員組織とカカオ生産国との協働の取り組みを促進。 • （ICIのCLMRSを評価するも、課題の解決には至らないと感じており、新しい方法を模索中。）

欧州4プラットフォームにおける、 児童労働分科会の統合の流れ

- 児童労働については課題が共通しているため、合同分科会として統合されていく方向。
- 事務局はスイスが担当。
- 2022年には、3回の分科会（3月、7月、11月）と1回の勉強会が予定されている。
- 生産国からの有識者もメンバーに加わる予定。
- 他の関連WG（モニタリングなど）や、国レベルのテーマ別ミラーグループとも密接に連携し、取り組みの相乗効果と補完性を確保する。

日本のプラットフォームにおける 児童労働分科会の設置と活動内容の提案

- プラットフォームが主体となり児童労働分科会を設置。
 - カカオ生産国に関与する活動を行う関係者全員の参加を呼びかける。
 - カカオ生産国政府および欧州プラットフォームとの連携を視野に入れる。
-
- 主な活動内容（案）：
 - ① 児童労働撤廃に向けたプラットフォームとしての目標設定
 - ② 児童労働フリーのサプライチェーンを担保する仕組みの構築
（カカオ生産国政府、自治体との連携や支援を含む）
 - ③ 企業による児童労働への取り組みガイドライン、共通指標の作成
 - ④ 成功事例を学ぶための現地視察（状況が可能になった場合）
 - ⑤ 定例会議（年4回程度）を通じた議論と共同学習

2021年は児童労働撤廃国際年。
今年中に分科会の設立を！

